

埼玉県

氏名 森田哲史（もりた さとし）

（満39歳 昭和54年6月8日生）

1 推薦の理由

森田教諭は、平成17年度にさいたま市立の小学校教諭として着任以来、体育科を中心に研究に励んできた。現任校に着任した平成23年度からは、毎年の研究発表会で授業公開をするとともに、埼玉県小学校体育連盟幹事として、連盟事業の運営に関わってきた。さらに、県内に留まらず、全国規模の学会や研修会に参加し、積極的に実践を発信している。また、平成31年度に開催が予定されている第58回全国学校体育研究大会埼玉大会の常任委員（研究部部長）として、基調報告作成を中心となって進めている。

以上のことから、埼玉県では森田教諭を体育授業優秀教員に推薦する。

2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

(1) 体育授業の特徴、指導効果

① 6年間を見通した年間指導計画の作成

森田教諭は、すべての児童が確かな学習成果をバランスよく習得できるよう6年間を見通した指導計画を作成している。児童の実態を踏まえた計画の下で、発達の段階に即した適切な学習の目標や内容が設定され、系統的な指導がなされている。

② 思考力、判断力、表現力等の育成を目指したICT活用

児童の実態を踏まえ、思考力、判断力、表現力等の育成を中心に研究を進めている。動きを比較することを視点とし、比較しやすくするための手立てとしてICTの活用を積極的に取り入れている。タブレット型端末や電子黒板を用いて動きを可視化することは、適切な課題の選択や具体的な活動の決定につながり、学習カード分析から思考力、判断力、表現力の高まりを見取ることができた。

(2) 成果の汎用性

① 埼玉大学教育学部附属小学校年間指導計画（体育科）の発刊

各学校で活用できるよう、4年毎に年間指導計画を発刊している。県内外から多くの購

入希望を受けている。

② 授業公開、学会発表、研修会講師、雑誌寄稿
毎年10月と1月に年2回授業公開を行っている。その授業の成果と課題をまとめ、学会での実践発表、研修会での講師、雑誌への寄稿等を行っている。

(3) 成果を証明する資料等

- ① 埼玉大学教育学部附属小学校体育科年間指導計画
- ② 日本体育科教育学会ラウンドテーブル配付資料
- ③ 日本体育学会口頭発表資料
- ④ 埼玉大学教育学部附属小学校第1回公開授業研究会指導致案

3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

- ・2017年7月 日本体育科教育学会第22回大会（桐蔭横浜大学）ラウンドテーブル「小学校高学年におけるハードル走の系統的な指導計画を考える」
- ・2017年8月 日本体育学会第68回大会（静岡大学）口頭発表「小学校体育授業における6年間を見通した指導計画の開発 一歩の運動遊びからハードル走への系統的な指導」
- ・2017年10月 第10回体育の授業力向上を志す会（筑波大学附属小学校）シンポジスト「体育授業における主体的・対話的で深い学び」
- ・2017年11月 体育授業研究会第9回冬の研修大会（東京学芸大学附属竹早小・中学校）実技講師「小学校6年間を見通した指導計画から中学校3年間への連携を考える 一歩の運動遊びからハードル走への系統的な指導」

4 勤続年数 14年

5 職歴

- 平成17年 さいたま市立与野本町小学校 教諭
- 平成22年 さいたま市立指扇小学校 教諭
- 平成23年 埼玉大学教育学部附属小学校 教諭